

活用技術

平成 24 年度

佐渡の特産品であるトキ色メロン「グランドール4号」の品種特性		
[要約] <u>グランドール4号</u> はグランドール1号に比べ小玉で、 <u>果実重</u> は小さい。果実の <u>へタ離れ</u> 程度が軽いため、贈答用にも適する。 <u>着果率</u> は高く、果実ネット等の外観品質は同等となる。果実品質では <u>果肉着色</u> (淡橙色)は同等であるが、糖度はやや低くなる。		
農業総合研究所佐渡農業技術センター	連絡先	TEL 0259-63-4102 FAX 0259-63-3972

[背景・ねらい]

「グランドール1号」は「佐渡の新しい特産『トキ色メロン』の選定」(平成17年度活用技術)として公表され、佐渡のトキをイメージさせる特色ある食材として供給されている。しかし流通業者や消費者からは大玉(2kg程度)で、へタ離れしやすいことから、贈答用としての使いにくさが指摘されていた。そこで、「グランドール1号」と同じ果肉色を呈する「グランドール4号」の特性や果実品質について検討し、トキ色メロンの生産拡大のための資料とする。

[成果の内容・特徴]

- 1 果実は、「グランドール4号」が小玉で、果実は小さい(表1、図)。
- 2 「グランドール4号」は、へタ離れの発生程度が軽い。果溝の深さ、裂果の発生程度及びネット評価については同等である(表1)。
- 3 果肉着色(淡橙色)は「グランドール1号」と同等であるが、果実糖度はやや低い(表1)。
- 4 着果率は、「グランドール4号」が高い(表2)。

[成果の活用面・留意点]

- 1 本試験は佐渡農業技術センター内パイプハウス(3.5間×10間、埴壤土)での地這い栽培で、整枝は1株子蔓2本、各蔓2果着果を目標とした。作型は5月上旬播種、6月上旬定植、8月中旬収穫である。
- 2 水分要求量の高い品種であるため、収穫期の極端な水切りを行わずに栽培した。
- 3 弱草勢で着果率が極端に低下する場合があるので、草勢を維持するよう留意する。
- 4 水浸状果の発生がみられる場合があるので、肥培管理等に留意する。

[具体的データ]

表1 収穫調査及び果実品質 (平20、平22、平23平均)

品種	果実重 (g)	糖度 (Brix%)	硬度 (kg/m ²)	へた離れ 指数1)	果溝 指数2)	裂果 指数3)	ネット 評価値4)	果肉着色 指数5)	水浸状果 発生率 (%)
グランドール4号	1647.1	14.1	4.4	2.1	0.7	0.2	2.4	1.5	8.1
グランドール1号	1985.0	15.0	4.7	3.0	0.7	0.3	2.8	1.6	0.0
F値 6)	6.1*	10.2*	2.0	6.9*	< 1	4.1	3.2	< 1	5.7

1)へた離れ：5(離脱)～1(離層なし)

2)果溝：0(無)～5(極深)

3)裂果：0(無)～5(大割)

4)ネット評価値：5(極良)～3(中)～1(極不良)

5)果肉着色指数：4(80%以上着色)～3(20%-50%着色)～2(20%以下)～1(無着色)

6)F値の*は5%水準で有意差あり

表2 着果率 (平21～平22平均)

品種	着果率 (%)
グランドール4号	95.3
グランドール1号	80.6
F値 1)	10.4*

1)F値の*は5%水準で有意差あり



図 果実の外観

「グランドール1号」(左)、「グランドール4号」(右)

[その他]

研究課題名：1)佐渡の環境に優しい園芸生産と地域園芸振興品目の栽培技術確立

2)佐渡地域特産園芸品目の安定生産技術の確立

予算区分：県単経常

研究期間：1)平成20～22年度、2)平成23年度

発表論文等：なし